

1. 提出方法

- (1) 提出物:
 - 1 「応募者情報フォーム」
 - 2 「応募原稿」
- (2) 提出先: 大会実行委員にメールで提出 taikai@mhb.jp
- (3) 送付ファイル名:
 - 1 応募者情報フォーム: 「AppForm-筆頭発表者の苗字」をローマ字で記載
例) 山田花子さんの場合 AppForm-YAMADA.docx
 - 2 応募原稿: 「筆頭発表者氏名」をローマ字で記載
(苗字と名前の間にハイフンを入れる・苗字は大文字)
例) 山田花子さんの場合 YAMADA-Hanako.docx
 - 3 メール件名:
「大会応募(筆頭発表者の苗字)」としてください。
例) 山田花子さんの場合: 大会応募(山田)
- (4) 応募締切:
2023 年 5 月 31 日(水) 23:00(東京時間: UTC+9) 必着
- (5) 原稿など送付先及び問い合わせ先:
MHB 学会 2023 年度大会実行委員 taikai@mhb.jp

2. 用紙・レイアウト・長さなど

- (1) 用紙: A4 判(210mm x 297mm) 40 字×39 行 横書きワープロ原稿
- (2) 余白: 上下左右 28mm
- (3) 字詰め: 和文は 40 字(字送り 10.99pt)×39 行(行送り 18pt)、
英文は 80 字×39 行
- (4) 原稿の長さ: 1 ページ半以上 2 ページまで
(口頭発表・ショートプレゼンテーションの全てのカテゴリ)
- (5) 使用言語: 日本語、日本手話、英語
(例示のために他言語の単語などを含むことは可能)

3. 書式

- ・必ずテンプレート(template)をダウンロードして使用してください。
- ・行間や文字間を狭めたり文字サイズを小さくしたりして 2 ページにおさめた場合、査読できない可能性があります。
- ・発表を認められた場合、応募原稿が原則として予稿集原稿となります。網掛けなどの使用や図表は見やすさにご配慮ください。

3.1 使用するフォント

- ・和文: MS 明朝、欧文: Times New Roman(以下、TNR)です。テンプレートはこの設定がしてあります。
- ・文書中の文字列のフォントを、他のフォントから指定のフォントに設定する場合は、変更する個所を範囲指定して、和文フォントを指定し、その範囲指定のまま、欧文フォントを指定すると、問題なく混在できます。

3.2 使用する文字

- (1) アルファベットと算用数字はすべて半角
- (2) 句読点: 句点は「。」、読点は「、」を使用
- (3) カッコ: () 「」『』ともに全角を使用
- (4) 「、」『』を用いる場合は半角で、文字の後に半角の空白を挿入

3.3 発表タイトル、発表者名、所属

- (1) 最初の行にタイトル(MS 明朝+TNR、12pt、**太字**、中央寄せ)
副題がある場合: 全角ダッシュ(—)で挟み次の行に(MS 明朝+TNR、12pt、**普通書体**、中央寄せ)
- (2) 1 行空けて、英文タイトル(TNR、12pt、**太字**、中央寄せ)
副題がある場合: 次の行の中央に(MS 明朝+TNR、11pt、**普通書体**)
- (3) 1 行空けて、氏名(カッコ内に所属)を記す(明朝体、12pt、右寄せ)
漢字表記の場合: 姓名の間に半角スペース(例: 山田 花子)
カタカナ表記の場合: 姓名の順に並べ、間にナカグロ(例: スミス・ジョン)
所属: 大学院生は身分を明記する(例: ○○大学大学院 博士後期課程)。
※ 発表者が複数の場合、氏名と氏名の間は全角 1 文字分のスペースを入れる。1 行におさまらない場合は、改行して次の行に記す。

3.4 見出し

- (1) 最初の見出し: 発表者名の次に 1 行あけて入れる(10pt)
※テンプレートの見出しの語句は内容・構成に応じて自由に変更可能
- (2) 節見出しのナンバリング: 1. (半角数字+半角ピリオド+半角スペース+見出し(太字))
- (3) 項見出しのナンバリング: 1.1 (半角数字+半角ピリオド+半角数字+半角スペース+ 見出し(太字))
※節と節の間には空行を入れない

3.5 本文、図表、文献、注

- (1) 本文: 見出しの次に 1 行あけずに書き始める
和文は MS 明朝 10pt、英数字は TNR 10pt
- (2) 図表: 図や表のタイトル(中央寄せ、MS 明朝・TNR、9pt、太字)・表の中の文字は 9pt
※表のタイトル・図のタイトルは図の上に、行をあげずに表記
- (3) 本文中の文献表示:
 - 著者名・刊行年を本文で表示する場合
山田・田中(1990)、
Dressler and Kamil(2006)、
Bialystok, Shenfield and Codd (2000)
 - 著者名・刊行年を本文カッコ内で表示する場合
(山田・田中, 1990)、
(山田, 2000; 斉藤, 2002)、
(Cummins, 1981, 1991)、
(Dressler & Kamil, 2006)、
(Bialystok, Shenfield, & Codd, 2000)など
 - 著者名・刊行年を本文カッコ内で表示し、ページ数も記載する場合
(山田・田中, 1990, p.5)など
- (4) 注: 稿末注とし、本文の直後、1 行空けて引用文献の前に 9pt で入れる。本文中は「上付き」を

使用し、右肩に「数字+パーレン」で示す。

例)MHB 学会研究大会は 8 月に開催する¹⁾

(5) 引用文献: 引用したもののみを 9pt で挙げる。本文から 1 行空ける。複数行にわたる場合 2 行目以降は半角 5 文字下げる。

日本語文献(50 音順)の次に欧文文献(アルファベット順)で記載する。

その他の言語による文献は、言語ごとにまとめ、その配列はその言語の習慣に従う 3.6

英語で執筆する場合

タイトルを含め全文 Times New Roman を使用し、字の大きさや配置等その他については日本語の執筆要領に合わせてください。

疑問の点は遠慮なく実行委員会までお問い合わせください。✉ taikai@mhb.jp